



元藤平陶芸登り窯・特別公開・
藤平伸と藤平陶芸の作品展示

藤平伸とその背景 —京焼登り窯の広がり—



元藤平陶芸登り窯の特別公開

場所 | 元藤平陶芸登り窯 (五条坂京焼登り窯) 〒605-0845 京都府京都市東山区竹村町 151

日程 | 2015年10月3日(土)、4日(日)、11日(日)、12(月・祝)、17日(土)、18日(日)

時間 | 10:00 ~ 17:00 / 入場無料 / お問い合わせ: siigro2003@yahoo.co.jp (木立雅朗)

主催 | 立命館大学文学部考古学・文化遺産専攻、同京都学専攻、立命館大学アート・リサーチセンター、京都市教育委員会

協力 | 藤平陶芸有限会社、公益財団法人菊池美術財団・菊池寛実記念 智美術館



元藤平陶芸の工房にて制作する藤平伸

京都の陶磁器生産の中心地、東山区五条坂にある藤平陶芸(1916年創業)は、陶芸家・藤平伸(1922~2012年)の生家であり、藤平陶芸が戦後から2008年まで所有した「元藤平陶芸登り窯」は、藤平伸の作品制作の場所でもありました。

京都市内で最大規模の登り窯(1909[明治42]年築窯)と工房の建つ敷地は2008年に京都市に移管されましたが、本年12月6日まで東京の菊池寛実記念 智美術館で「夢つむぐ人 藤平伸の世界」展が開催されるのに合わせ、上記日程で登り窯と工房スペース全体を特別公開し、「藤平伸とその背景一京焼登り窯の広がり」をテーマに、藤平伸と藤平陶芸の作品を展示いたします。

登り窯についての解説 木立雅朗(立命館大学文学部教授)

10月12日(月・祝) 14時~ (30分間・予約不要)



(撮影 左、右:大道雪代)

藤平陶芸のご紹介

藤平陶芸(創業時:藤平陶器所)は、兵庫県淡路出身の藤平政一が京都市東山にて1916(大正5)年に創業した製陶所です。藤平陶器所は職人肌で釉薬開発を得意とした政一と、その長男で二代目を継いだ長一らの手腕により、戦後には市内最大規模の登り窯を有し、生産から販売までを手がける製陶所へと発展し、また、次男の藤平伸は個人作家として活躍しました。現在、三代目の末弘直道氏が代表を務める藤平陶芸では主に花器や食器などが制作されていますが、創業百年を迎える歴史の中では時代のニーズに応え様々な製品が生産されてきました。公開時には、窯場の空間にてそれらをご紹介します予定です。

・京のやきもの歴史遺産・五条坂京焼登り窯(元藤平)

この度公開する元藤平陶芸登り窯は、五条坂地区に残された5基の登り窯の一つです。太平洋戦争前から戦後にかけて、多くの清水焼の登り窯が操業を停止し、窯そのものが失われていきましたが、そのなかで操業当時の姿をそのままに留めている貴重な歴史遺産、文化遺産です。『元藤平陶芸登り窯の歴史的価値等調査研究・報告書』2015年京都市発行、参照。)

Access 京都府京都市東山区竹村町151
市バス「五条坂」下車・徒歩3分 京阪電車「清水五条」駅・徒歩12分

